

当社は、「地元の元気プロジェクト」の一環として、地域社会のニーズに応える貢献活動や将来の地域活性化を担う子どもたちの健全育成に向けた活動を全国各地で取り組んでいます。

明治安田生命Jリーグの応援

当社は「地域社会の活性化」に向けた新しい価値をJリーグとともに提供していきたいと考え、2019年1月にタイトルパートナー契約を更新しました。2021シーズンも引き続き、全国の支社等がそれぞれ近隣のJクラブ等*とスポンサー契約を締結し、全国各地域で小学生向けサッカー教室やJリーグ観戦イベントを開催するなど、子どもの健全育成や地域社会の活性化に貢献する活動を展開していきます。

*近隣にJクラブがない場合は、JFL等に所属しているクラブ



地域貢献

私の地元応援募金

コロナ禍において地域社会のために奮闘する自治体等を直接支援すべく、従業員が自身にゆかりある地元の団体等に任意で行なう募金に、会社拠出の寄付を上乗せして寄贈する「私の地元応援募金」を行ない、全国の支社等が選定した自治体など1,210団体へ総額5.2億円を寄付しました。



「地域を見守る」社会貢献活動

2014年から、営業職員（MYライフプランアドバイザー等）が日々のお客さま訪問活動のなかで、子どもやご高齢者等の様子に変わったことや気付いたことがあれば、警察署・地方自治体の窓口等に連絡し、不測の事態を未然に防ぐ「地域を見守る」社会貢献活動を実施しています。



社内「ボランティア表彰」制度

全国各地の事業所ごとに独自に社会貢献活動を推進し、高齢者施設や児童養護施設等への訪問・寄贈、地域清掃、環境保全活動など、地域に根ざしたさまざまな活動を行なっています。年間を通じて創意工夫ある活動を行ない、社会的な信頼を高めた組織を表彰する「ボランティア表彰」制度を設け、2009年から従業員の地域・社会貢献活動意識の向上を促進しています。



子どもたちの健全育成

あしながチャリティー&ウォーク、あしなが育英会への寄付

2011年から全社統一取組みとして、当社従業員が親をなくした子どもたちの「あしながさん」となって、ウォーキングやチャリティー募金を通じて、子どもたちの進学支援や心のケア支援活動を行なっています。

2020年度はコロナ禍において、遺児家庭の生活が困窮している状況をふまえ、二度にわたり総額1.5億円を寄付しました。



ふれあいコンサート

1984年から、障がいのある子どもたちに「生の音楽」を届けることを目的とした、ザ・ワイルドワンズの鳥塚しげき氏による「ふれあいコンサート」を開催しています。2020年までの37年間で全国の特別支援学校等165校にて開催しました。



愛と平和のチャリティーコンサート、未来を奏でる教室

音楽に親しむ機会を提供することで、子どもたちの情操教育に役立ちたいという思いから、2009年から全国各地で三枝成彰氏による「愛と平和のチャリティーコンサート」と小・中学校での音楽授業「未来を奏でる教室」を開催しています。コンサートは、これまでに全国53箇所で開催し、過去12年間で総額約2千万円の募金を、東日本大震災で被災した子どもたちの支援のために活動しているNPO団体等へ寄付しました。

(注) 2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、音楽授業は中止しました。



黄色いワッペン

新入学児童を対象に交通安全キャンペーンの一環として「黄色いワッペン」の贈呈事業を実施しています。1965年から過去57年間で約6,868万人の新入学児童に黄色いワッペンを贈呈しました。

(注) この事業は、株式会社みずほフィナンシャルグループ、損害保険ジャパン株式会社、第一生命保険株式会社と共同で実施しています。



金融・保険教育

2020年から、地域の中学生を対象に、「保険」や「お金」に関する出張授業「金融・保険教育」を各地で開催しています。将来に向けて「自助の備え（保険・貯金の必要性）」について学ぶ機会を提供することで、人生100年時代を豊かなものとするための金融リテラシー向上をめざします。



海外での地域社会への貢献

[The Standard's Employee Giving Campaign]

米国保険子会社のスタンコープ社では、毎年、従業員による寄付キャンペーンを展開し、障がい者・保健医療・教育分野等に対する支援を行なっています。同社は、従業員の積極的な地域社会への貢献活動をさらに後押しするため、従業員からの寄付金と同額を寄付しており、当社も共同参加した結果、

2020年には、全米で2,200の学校と非営利団体に過去最高となる590万ドルの寄付を行ないました。また、コロナ禍における支援として、地域の慈善団体を通じて企業・団体へ支援金を提供しています。

財団法人等を通じた社会貢献活動

公益財団法人 明治安田厚生事業団

1962年6月に設立された当財団は、広く一般の健康増進に資する調査・研究およびこれらの知見の普及啓発を推進するとともに、若手研究者への研究助成により社会貢献活動を行なっています。知見の普及啓発活動では、自治体、企業、地域など広く一般社会を対象に、科学的根拠に基づく健康情報や健康づくりに関する講演会・測定会等を実施しています。近年は「座りすぎ対策」を中心に健康経営を推進する企業等の支援を行なうほか、地域住民の健康づくりの普及啓発にも取り組んでいます。

一般財団法人 明治安田健康開発財団

2017年4月に明治安田厚生事業団の業務を一部分離・継承する形でスタートした人間ドック（健診）事業を行なう「新宿健診センター」と、2019年4月に設立された「健康増進支援センター」から構成されています。

健康増進支援センターでは、科学的根拠に基づいた健康情報の普及啓発を目的に、健康運動指導士、管理栄養士等の専門家による体験型健康セミナーの開催や、健康経営を推進する団体への情報提供や支援等を行なっています。

公益財団法人 明治安田こころの健康財団

1965年3月に設立され、2012年に公益財団法人へ移行した当財団は、子どもの健やかな成長をサポートすることを理念として活動を行ない、専門相談員による発達障がいの子どもの療育相談、心理相談などを行なっています。また、精神保健分野、児童心理分野などにかかわる人々への研修講座を開催するとともに、これらの領域の研究者に研究費用を助成しています。さらには、障がいのある人々、外国人など話し言葉によるコミュニケーションにバリアのある人々への支援ツールとして「コミュニケーション支援ボード」の普及に努めています。

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団

1991年6月に設立され、2012年に公益財団法人へ移行した当財団は、地域の伝統文化（民俗芸能および民俗技術）の継承、特に後継者の育成を支援する「地域の伝統文化保存維持費用助成制度」を運営しています。また、わが国のクラシック音楽文化の向上のために、国際的音楽家をめざして研鑽中の若手音楽家を支援する「海外音楽研修生費用助成制度」を運営し、国民生活の質的向上およびわが国文化の発展に貢献しています。